

なくそう！！ 交通事故

春の全国交通安全運動



▶ 入学式での交通安全指導



▶ JR藤田駅での街頭啓発活動



▶ 登校時の交通安全指導



▶ 白バイも参加した出動式

春の全国交通安全運動が4月6日(火)から15日(木)までの10日間実施されました。今年、「手を上げる可愛い笑顔に「待つ笑顔」を運動のスローガンに、昨年引き続き、子どもと高齢者の交通事故防止を訴えました。

また、運動の重点として次の3点を掲げて実施しました。

- ① 全ての座席のシートベルトとチャイルドシート
- ② 自転車の安全利用の推進
- ③ 飲酒運転の根絶

町内においても、交通安全協会や交通安全母の会の皆さんを中心に通勤・通学時における街頭啓発活動などを行い、交通事故防止を呼びかけました。

十二座の舞を奉納

前日に降った季節はずれの雪が静かに溶け、晴れ間の広がった4月18日、内谷春日神社において、町無形民俗文化財の太々神樂が奉納されました。

地方に伝わる太々神樂は新古さまざま系統がありますが、内谷春日神社の太々神樂は、出雲流といわれ、比較的古風な姿を残しているものです。代表的な舞は、「猿田彦」「岩戸開」「左右」などの舞があります。

この日は、全二十二座のうち、春休みから一生懸命練習を重ねてきた小・中学生11名も参加し、十二座が奉納されました。

今回初めて参加した渡邊啓剛くん(小坂小4年)は、「緊張したけど、うまくいった。」と満足の表情を浮かべていました。

会場に訪れた人々は、大人の迫力ある舞と小学生による可愛らしい舞の両方を

見ることができ、久しぶりに晴れわたった内谷の春を楽しんでいました。

地域で支える

太々神樂保存会は、大字内谷地区の全68世帯により組織されています。当日は、実際に舞を行う楽人部のほか、地元若連、婦人会、消防団等多くの人が協力し、地域全体で神樂奉納を支えていました。



神樂奉納に華を添えた春日神社の山車

まちはきれいで

4月30日、大木戸小では、恒例のあつかしハイク・クリーン作戦を行いました。全校生で地元の阿津賀志山に登り、山頂で弁当を食べた後、持参したゴミ袋を手にゴミ拾いを行いました。児童は、帰り道でも一生懸命ゴミを探していました。

大木戸小あつかしハイク



4月10日、小坂スポーツ少年クラブは、日頃からお世話になつて居る地域の皆さんへの感謝の気持ちとして、小坂地域での清掃活動を行いました。

道路脇の草の中にある空缶やタバコの吸殻等も見逃さずきれいに集めていました。

小坂スポーツ少年クラブ

